

福祉パレット

あたたかい善意とご協力をありがとうございました

平成20年度赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金結果報告

◆募金結果

地区・種別	赤い羽根	歳末たすけあい
物集女	594,980円	606,371円
寺戸	1,256,562円	1,423,002円
森本	316,910円	376,729円
鶏冠井	384,500円	473,892円
上植野	375,160円	382,565円
向日	110,750円	126,568円
西向日	150,000円	192,700円
向日台	86,980円	94,650円
その他 街頭募金 職域募金 前年度繰越	213,169円	496,600円
合計	3,489,011円	4,173,077円

◆配分金使途

寄せられた善意は、次の事業に配分させていただきました。

○赤い羽根共同募金

配分先	配分金
交流のつどい支援事業	180,000円
単身親世帯支援事業	100,000円
むこう市社協だより「福祉パレット」発行	708,497円
向日市社協ホームページ作成	92,544円
困りごと相談事業	360,000円
向日市社協ボランティア連絡会育成支援事業	80,000円
親子ふれあい事業	100,000円
障がい者(児)ふれあいレクリエーションの開催	60,650円
向日市サマースクール中高生の取組支援事業	50,000円
合計	1,731,691円

(京都府共同募金会からの配分金内で、事業を実施しています)

○歳末たすけあい募金

配分先	配分金
子育て支援事業	83,099円
地域支えあいベル設置事業	384,305円
お節料理配食事業	1,053,800円
貸出用車いすの整備・補修事業	60,000円
ボランティア育成支援事業	104,700円
地域サポーター養成講座	70,995円
「福祉とボランティア」出前教室事業	8,000円
思春期の子育て親育ち講座	33,000円
社協まつり	1,080,283円
新成人自己発見・再確認支援事業	81,689円
事業費助成(福祉団体) 17団体	702,080円
事業費助成(地区社協) 8団体	401,280円
事務費	109,846円
合計	4,173,077円

(お節料理配食事業)

70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、民生児童委員の協力のもと、安否確認を兼ねて配食を実施し、住民相互の見守りを実施しました。

(子育て支援事業)



「子育て支援」をテーマに、住み慣れた地域社会において、安全で快適に子育てができるように支援することを趣旨として、発達心理や、心肺蘇生法、お菓子作りをテーマにした講演や実習を行いました。

(障がい者(児)ふれあいレクリエーション)



障がい児・者を対象に、外出の機会を提供し、参加者相互の交流を図りました。

(新成人自己発見・再確認支援事業)



新成人の自己覚知を目的に、過去や将来の自分に対するメッセージを募集し、真剣に自分自身を考えるきっかけづくりを行いました。

「地域支えあいベル設置事業」のご案内

「実態調査」を行ったところ、多くの方に「あんしん」と「あんぜん」を実感していただいていることがわかりました！

向日市社協では、70歳以上の高齢者世帯（ひとり暮らし

を含む）で、日常生活に不安のある方（※1）を対象に、「地域支えあいベル設置事業」を実施しています。

ご自宅内にスイッチを1〜2か所設置します。



ご自宅の外壁等にベル本体を1か所設置します。

「地域支えあいベル」とは、音と光による報知性能を備えた機器のことを言い、対象者の自宅に、ベル本体（1か所）とスイッチ（1〜2か所）を無料で設置しています。

このベルを緊急時に鳴らされた時、ご近所の方々に駆けつけていただき、安否確認や通報等に協力していただく仕組みになっています。

平成14年度から7年間にわたってベルを設置した世帯（約120世帯）を対象に、昨年12月から今年3月までの期間、職員が自宅を訪問し、「実態調査」を行いました。

この調査では、ベルを設置したことで、日常生活に影響があったことやベルの利用実態、また対象者の緊急連絡先や介護保険サービスの利用状況等について、お聞きしました。

その結果、多くの方から、「ベルを設置したことで、安心感を得ることができた」との回答が寄せられました。

また、「訪問販売に来られる回数が減ったため、防犯面で役立つように思う」、「ご近所の方々によく声を掛けてもらえるようになり、嬉しく思っている」、「ひとり暮らしをしているので、この調査を通じて、私の存在を知ってくださっている方がいることや、いざという時に助けてくださる機関があることを心



強く思った」と言う回答も寄せられ、「あんしん」と「あんぜん」を実感していただいていることがわかりました。

今後もこの事業を継続して実施する予定ですので、ベルの設置を希望される方（※2）は、お気軽に地域福祉係までご相談ください。

（※1）該当する方であっても、「あんしんホットライン」が設置されている世帯は対象外となります。

（※2）年間を通じて、ベルを設置できる時期は、決まっています。また、その他にも設置に関する条件がありますので、詳細については、ご相談時にお問い合わせください。

<会議室の利用方法>

福祉関係団体や福祉関係の会議にご利用いただけます。

申込方法 利用する日の3か月前から3日前までに1階の会館事務室に申し込み

休館日 毎週日曜日、国民の祝日及び12月28日から翌年1月4日まで

受付時間 午前9時から午後5時まで

利用料金 無料

会議室 大会議室 定員70名
研修室 定員16名

※会議に伴う保育ルーム用のスペースも確保できます。

<福祉会館の見学も受け付けています>

福祉会館内の見学、身体の不自由な方への設備、社会福祉の仕事などをご案内します。

1階の会館事務室にお申し込みください。

福祉会館を
ご利用ください



「福祉サービス利用援助事業」のご案内

あなたの暮らしの安心をサポートします

たとえば…

困ったこと

銀行や郵便局でお金を出し入れすることが一人で不安

ひとりで支払いをすることができない。

市役所から来る郵便物の内容がよくわからない。

通帳やはんこ、または大切な書類を自宅に置いておくことが不安。

福祉サービスを利用したいけれど、内容や利用の方法がわからない。

福祉サービスを利用して嫌なことがあったらどうしたらいいですか。



お手伝い

銀行や郵便局と一緒にいったり、あなたの代わりにいったりします。

あなたの代わりに支払いをします。

わかりにくいところをわかりやすく説明します。また必要な手続きを代行します。

ご希望があれば、向日市社協の金庫で預かります。

福祉サービスの内容や、どうしたら利用できるのかを説明します。

責任を持って解決に努めます。

この事業は、もの忘れや認知症、知的障がい、精神障がいのある方を対象としています。また、ご利用は審査を受けてからとなり、利用料が必要です。あなたが必要とする頻度に応じて、生活支援員がお手伝いします。

くわしくは、地域福祉係までご相談ください。

生活支援員（アルバイト職員）を募集します



福祉サービス利用援助事業（上記の事業）に携わっていただく生活支援員（アルバイト職員）を募集しています。

生活支援員は、利用者の介護をしたり、買物や洗濯など家事のお手伝いはしません。利用者がそれらのサービスを頼めるようお手伝いしたり、金銭管理をお手伝いするのがお仕事です。

活動時間は、1回につき1～2時間程度で、担当していただく利用者のニーズによって週1回から月1回程度の活動頻度となります。

時給は800円で、別に事務費の支給があります。生活支援員のための勉強会（研修）も開催しています。

利用者の生活を支えるやりがいのあるお仕事です。

障害者地域生活支援センター

福祉制度やサービス調整、生活上の悩みや日ごろの気になっていること、障がい福祉に関することなら何でもご相談ください

地域において、安心して暮らしていくために、困ったことや悩みがある時に相談できる窓口を作っておくことは大切なことです。

身近な相談窓口として、お気軽にご利用ください。

受付時間：月～金曜日

午前8時30分～午後5時

相談方法：窓口相談、電話、

ファックス、メール、訪問も行います。

本センターでは、相談支援のほかに、療育や余暇活動支援を目的とした障がい福祉事業も行っています。また、サロン活動をおして、障がい児・者の自立と社会参加を支援しています。

平成20年度の事業紹介

◆余暇活動支援事業

(ハンドベル)

学校、仕事が終わった後の空き時間を利用して、ハンドベル演奏を実施しました。



締めくくりとして行った演奏会には多くの方にご来場いただき、日頃の成果を発揮する良い機会となりました。

◆療育事業(ミュージックケア)

身近な療育の場の確保を目



的に、ミュージックケアを実施しました。



◆いきいきサロン事業

(聴覚障がい者・中途失聴覚者・難聴者対象)

聴覚に障がいがあるために外出の機会が少なくなりがちな方を対象に定期的なサロン活動を実施しています。



平成21年度ボランティア活動センター事業のご案内

ボランティア活動センターでは、下記のような事業を予定しています。

・ボランティア養成講座

講座名	対象	内容	開催月
第1回 ボランティア 入門スクール	市内に在住、または在勤(学)の方で、ボランティア活動に関心のある方	・ボランティア活動ってなに ・活動紹介	7月
地域サポーター 養成講座 【2回シリーズ】	向日市に在住で、地域の支え合いなどのボランティア活動に関心のある方	・高齢者の理解と地域での課題 ・傾聴の重要性	10月

※開催の際は、改めてチラシやホームページなどで募集します。

・ボランティア相談会の開催

ボランティア活動を始めてみたい方、ぜひお越しください!

中・高生の方も
気軽に来てね!

*とき 毎月 第3土曜日 午前10時～正午

*ところ 福祉会館(3階)ボランティア活動ルーム

*受付 予約は要りませんので、直接会場へお越しください。

*相談カレンダー

4月	5月	6月	7月
18日	16日	20日	18日

※都合により、開催日が変更になる場合がありますので、ご確認のうえお越しください。

・「福祉とボランティア」出前教室

登録ボランティアが、学校の授業や自治会のイベントなどに出向き、福祉講話やボランティア活動体験を通じて、人にやさしいまちづくりへの理解を深めるとともに、より多くの方々がボランティア活動に参加するためのきっかけづくりをお手伝いしています。

*派遣できるプログラムは、次の5種類です。

- ①点字 ②手話 ③車いす ④要約筆記 ⑤ドッグセラピー
※1プログラム1時間以内です。

・備品貸出事業

ボランティア体験学習用に次のような備品を貸出しています。

備品名	数量
車いす	10
アイマスク	30
点字板	50

◎他に、福祉ビデオ教材の貸出もしています。

お問い合わせ先：地域福祉係

まちかどウォッチング



合言葉は「スマイル」

今回は、障がい者ハンドベルグループ「スマイル」を紹介します。

本会が昨年末に実施した障がい福祉事業（ハンドベル演奏）をきっかけに、メンバーが中心となり事業終了後も定期的に活動を行ってられます。

「スマイル」というグループ名には、メンバーがいつも笑っていただけるようにという願いが込められており、笑顔のたえない活動は交流の場としても活用されています。



撮影：平成21年2月5日（木）



第1回社協まつりを開催しました。

市民各層の福祉活動へのさらなる理解と地域住民の融和と連携を深めることをめざして、平成20年11月2日（日）午前10時から向日市福祉会館で、「第1回社協まつり」を開催しました。当日は爽やかな秋晴れのもと、子どもから高齢者まで約2000人にご来場いただき、人形劇団「クラルテ」によるステージイベントやボランティア紹介、サロン作品体験、作業所作品販売、模擬店やもちつき等々、盛りだくさんのイベントで大変な賑わいでした。



善意のご寄付ありがとうございました。

（平成20年10月1日～平成21年1月31日）

吉井 孝一 様	50,000円
東向日キリスト教会 様	5,000円
医療法人回生会 様	70,000円
畠中 まひろ・ゆうひ ちゃん	5,072円
近畿歌謡合同研究会 様	41,626円

印刷機等利用サービスののご案内

向日市社会福祉協議会では、町内会や自治会など、地域で福祉活動や子ども会活動などをされる方を対象に、印刷機、コピー機、紙折機等の利用サービスを行っています。

利用料金	印刷機	1枚につき1円及び原版1枚ごとに50円
	コピー機	1枚につき8円 ※カラーコピーは1枚につき50円～。
	丁合機	1回100円
	紙折機	無料

利用方法及び

利用時間 利用時間 事前に電話にてご予約ください。

9：00～17：00（月～金曜日） 〈お問い合わせ先〉総務係

ヘルパーと ともに パート17



2人で仲良く、いつまでも

ダイヤモンド婚式 (60年目)のお2人

山本 英次さん (85歳)
一栄さん (82歳)

今回は、山本英次さん、一栄さんご夫婦にご登場願いました。英次さんが脳梗塞で倒れられてから20年。ご結婚されて58年というお2人です。

働き者同志

英次さんは、山陰地方のお生まれで、戦後お姉さんのおられる大阪で働かれました。そこで、一栄さんと出会われ、結婚されました。一男一女に恵まれます。お2人も働き者同志。英次さんは定年退職後も嘱託として勤められていました。昭和63年に脳梗塞で倒れられ、お見舞いに来られた職場仲間から「おっちゃん始業時



ベッドから車いすへ移乗

家族の絆

「近所に娘がいてくれて、本当にありがたい。」ご感謝されています。間が来たら直ぐ動けるように、早く来て準備していたなあ。人の何倍も仕事してくれたなあ。」と言われ、一栄さんは仕事ぶりを初めて聞かれました。もともと無口で何も言わない人だから、どんな風に仕事しているのか知らなかった。夫の事を悪く言う人は誰もいなくて、一栄さんは嬉しかったと思いついて、一栄さんは嬉しかったと思いついて、一栄さんのお母さんにも「優しい言葉をかけてくれる夫です。」とのこと。そして、お料理上手。「今日はお父ちゃんの料理や、美味しいで!!」と子どもさんが言うくらい腕前です。一栄さんも、ミシンの仕事や友禅の仕事、家を改装して最近までお店をされていたという、とても働き者のお2人です。

「近所に娘がいてくれて、本当にありがたい。」ご感謝されています。

娘さんが毎朝、7時ごろには来られ、英次さんの排泄介助を奥さんと協力してされます。英次さんは、奥さんが用意された朝ご飯をゆっくり自分で食べられます。「何でも文句言わず食べてくれるし助かる。食べるのが楽しみ。」とのこと。娘さんは仕事の帰りにも寄られ、排泄介助し、お二人に声を掛けて帰られます。そして、夜9時頃に寝る準備と排泄介助を奥さんと一緒にされます。車椅子に移るのが少しでも楽なようにと必ず、脚の屈伸とマッサージを欠かさずされます。一栄さんを助け、励ましておられる姿に頭が下がります。

「私に用事がある時には、弟に頼む時もあります。私にできることは少しでも助けてやりたい。」と話され、父に「お父さん、どこかに行く?」どこにいきたいの?」と聞く、無口な父が「ここにいたい。」と言います。とのこと。いつまでも住み慣れたこの家にいたい、2人で築かれたこの家が一番という思いをお持ちです。

ヘルパーの訪問

ヘルパーの訪問は平成17年5月から始まり、現在は(月)(火)(土)の朝にヘルパー2人で、デイサービスへの送り出しを行い、安



デイサービスに行ってきます

心、安全を心がけています。ヘルパーは短時間の訪問だけで、英次さんの介護のほとんどは一栄さんと娘さんがされています。それでも、私たちが訪問すると「若い人とおしゃべりできて楽しみ。」と喜んでもらい、ヘルパーもやりがいを感じています。

ダイヤモンド婚式のお二人

今年のお正月は娘さん、息子さん、お孫さん総勢15人がこの家に寄ってくれて嬉しかった。英次さんも車椅子に座り、ご機嫌だったと聞きました。お2人は2年後に、結婚60周年(ダイヤモンド婚)を迎えられます。結婚記念日には、愛情たっぷりのご家族で祝福されるお2人の姿が、今から目に浮かびます。

登録ヘルパーさんを
募集しています

お問い合わせ先

向日市社協ホームヘルプセンター TEL: 932-1968

楽しく一緒に働きませんか!!

高齢者をみんなで見守り、 支えましょう！

誰もが安心して暮らせるまちにするために

誰もが安心して暮らせるまちをつくるためには、地域の皆さんの理解と支えが必要です。向日市地域包括支援センターでは、高齢者の皆さんの尊厳と権利を守り、住み慣れた地域で安心していつまでも暮らしていただけるよう、総合的な相談の受付や、成年後見制度の普及促進、高齢者虐待の予防・早期発見・早期対応をするためのネットワークづくり等に取り組んでいます。

みんなと一緒に誰もが安心して暮らせるまちをつくりましょう。

○認知症について知りましょう、学びましょう。

できることから
はじめましょう。

- 近所の人と日常的に挨拶を交わしましょう。
- 困っている人を見かけたら声をかけましょう。
- ゆつくりペースに合わせ心のゆとりをもちましょう。



「ちょっと気になるな」と感じたら向日市地域包括支援センターへご相談・ご連絡ください。

- 家や庭の様子が荒れている。
- 郵便物がたまっていたり、夜になっても灯りがつかない。
- 家族が介護に疲れきっているようだ。
- 頻繁に近所をふらふら歩いている。
- 同じものをずっと着ている。
- お金のことで相談があった。
- 訪問しても中に入れたがらない。
- ひとり暮らしだが物忘れが目立ってきたようだ。
- 近隣に食事を求めてきた。
- しばらく姿をみかけない。
- 家族関係が急変した（家族が出ていった、ふたり暮らしで何日も同居者が帰ってこないなど）。
- 本人に何かあったときに、対応できる親族がいないようだ。
- 本人が悪徳商法の被害にあっているようだ。
- 怒鳴り声や泣き声、大きな物音がする。

暖かくなってきました。体を動かしましょう！

健康
コラム



ぐに効果が得られるものではないので、継続することが大切です。

体を動かさないと、体の色々な機能が低下してしまうため、適度に運動することが大切です。また、体を動かすことはストレス解消にも効果的。自宅で簡単な体操をする、買い物には歩いていく、ウォーキングをするなど、できることから日常生活に運動を取り入れましょう。

運動不足が引き起こす症状や病気

- 筋肉が弱くなり、膝や腰の痛みがやすくなる。
- 骨が弱くなり、骨折しやすくなる。
- 心肺機能が低下し、少し動くだけでも息切れがする。
- 高血圧、糖尿病、便秘、肥満などの生活習慣病になりやすくなる。
- ストレスがたまる。 など

運動するときのポイント

- 自分の体力や健康状態に合わせた運動を選びましょう。
- 楽しく、安全にできる運動を選びましょう。
- その日の体調によって運動量を調整しましょう。
- 十分な休養と栄養をとりましょう。
- 短期間での大きな効果は期待できません。すぐに効果が得られるものではないので、継続することが大切です。

京都府歯科衛生士会
乙訓支部 支部長
岩崎 香代さん



向日市社協では、市内で社会福祉に携わって活躍されている方にインタビューを行い、その方の社会福祉活動の内容等をご紹介します。「この人に聞く」コーナーを開設しています。今回は、京都府歯科衛生士会 乙訓支部 支部長 岩崎 香代さんに歯科衛生士の活動等についてお話を伺いました。

▼プロフィール

岩崎さんは、歯科衛生士の免許取得後、京都府歯科医師会障害者歯科サビセンターに5年間勤務され、その後、フリーの歯科衛生士として、乙訓地域で在宅訪問や高齢者・障害者福祉施設等での口腔ケアサポートの活動に携わってこられました。また、幼稚園、保育所での口腔衛生指導等にも尽力されています。

▼口腔ケア活動

健康の基本は、「一生涯を通して、自分の口からしっかりと食事を取ることで、口から食べられる楽しみをもって生活すること」で、そのための口腔領域からのサポートが口腔ケアである。」と、また、「口腔ケアの地域での普及のために「高齢者になってからではなく、小さい頃から自分の口からしっかりと食べることの指

導が大変重要で、そのために口腔機能を日常的にサポートすることが必要だ。」と、熱心に語られました。

平成18年4月の介護保険制度改正に伴い、口腔機能向上サビビスが取り入れられ、本会のデイスサビビスセンターでは、口腔体操や食後の歯みがき（入れ歯の手入れ）をすることで口腔内のトラブルも改善され、美味しく食べることができたと利用者から喜ばれています。

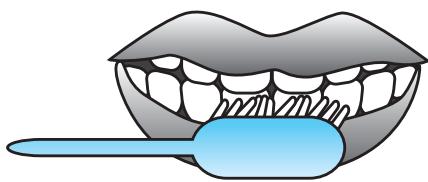
口腔ケアの目的をお聞きすると、「口腔清掃を行うことによる虫歯や歯周病の予防、肺炎などの感染症や全身疾患の予防、口腔機能の回復・維持向上という目的の中で、日々実践することにより、日常生活の質の向上を目指すことが大切です。」と、話されました。

▼ふれあいと思いやりのまちづくり

口腔ケアは、「健康づくりにとって大切ですが、私たちは口腔トラブルにより、美味しく食事ができないこともしばしばあります。美味しく口から食事を取ることに、もつと地域の皆さんに口腔領域への関心を高めていただくために、地域で、妊産婦さんや乳幼児期の育児サークル、老人クラブなどへの働きかけを行ったり、医療及び福祉施設等で歯科衛生士が活躍する場を広げていきたいと考えています。」

今後も「ふれあいと思いやり」を込めて、幼児期（妊産婦）から高齢者の方々に、私たちの健康にとって食べることの喜びが大切であること」を、楽しく伝えていき、口腔領域からの食生活のサポートができればと思っています。

ブラッシングワンポイントアドバイス



- 歯と歯ぐきのさかい目に歯ブラシをあてる
- ブラシを強く押しつけず、毛先を小さく動かす
- 歯を1本ずついいねいに磨く
- 入れ歯ははずしてから自分の歯を磨く
- 入れ歯の金具をにかけている歯は念入りに磨く

(愛称：むつみん)



向日市社協の広報誌「福祉パレット」に関するお知らせ

向日市社協の広報誌「福祉パレット」は、市民の皆様から寄せられた善意の「赤い羽根共同募金」の配分金を財源として、年に3回(3月・7月・11月)発行しています。

今後も市民の皆様に関心と親しみをもち読んでいただけるよう、紙面の充実に向けてまいりたいと思っておりますので、「福祉パレット」に対するご意見やご感想、ご要望等がありましたら、お気軽にお寄せください。

お問い合わせ先

- 総務係 932-1960
地域福祉係 932-1961
障害者地域生活支援センター 932-1990
地域包括支援センター 921-1550
デイサービスセンター 931-3294
ホームヘルプセンター 932-1968
居宅介護支援センター 931-3030
福祉会館 931-3322

